



イラク派遣部隊活動報告

16. 2. 24

陸自派遣隊

報告項目

- 1 全般
- 2 人員、装備の状況
- 3 現地の治安状況等
- 4 明日の活動予定

全 般

- ◎ サマーワ主力
 - ・ 隊貨移動3日目、コンテナ28個を移動完了。約120人分の天幕展張完了 本日 次カオに送付した天幕サマーワ輸送の展張
 - ・ 拡張作業は、壕堀及び表土の排土を実施
 - ・ 人道復興支援活動調整
 - サマーワ・コミュニティ(市役所)調整
 - △サンナ県で活動している給水車53台のうち、35台を運用しているNGOのACTEDが2月末日をもって、支援打ち切りを表明
- ◎ クウェート分遣班
 - ・ 本隊第1波貨物受け入業務
 - ・ 群長の大使館レセプション同行
- ◎ バグダッドLO
 - ・ [] を通じた情報収集
 - ・ LOミーティング
 - ・ 個人防護態勢強化
- ◎ バスラLO
 - ・ MJLC(連合国統合兵站調整所)との調整

人道復興支援(衛生)

16. 2. 24

- ◎ 特殊疾患クリニックの状況確認
 - 1 結核クリニック
 - (1)施設の状況
 - ・施設は新しく、清掃状況も比較的良好
 - (2)医療器材の状況
 - ・臨床検査器材は、顕微鏡、インキュベータ、遠心器のみで老朽化が顕著
 - ・X線装置は数十年前のものであり、現像も手作業
 - 2 喘息・アレルギークリニック
 - (1)施設の状況
 - ・施設は老朽化が顕著で補修等も未実施であり、清掃状況も不良
 - (2)医療器材
 - ・なし(全て盗難にあった模様)
- ◎ サマーワ市内の薬局の調査
 - ・サマーワ市内で4軒の薬局を確認(1軒は大手)
 - ・バグダットから殆どの医薬品等が入手可能
 - (病院用の医薬品は政府から供与されるため、今回調査した薬局から病院に納入されることはない。)

↳ 一般入用

人員現況

(16. 2. 24 2200現在)

区分	所属人員	イラク						クウェート						国外			国内			事故の内訳・備考				
		バクダット		バスラ		サマフ		キャンプ・ウジマ		キャンプ・ドーン		他	事故人員	現在員	他	事故人員	現在員	他	事故人員		現在員			
		他	事故人員	現在員	他	事故人員	現在員	他	事故人員	現在員	他											事故人員	現在員	
支援隊	458	-	-	-	-	59	5	53	122	0	128	-	-	181	0	181	277	0	277	8名:CV/B				
属務支援隊	85	4	0	4	2	0	2	26	4	22	28	0	33	1	1	0	61	0	61	24	0	24	5名:CV/B	
警務派遣隊	10	-	-	-	-	2	0	2	4	0	4	-	-	6	0	6	4	0	4					
陸軍 展開 支援 隊	調査班	9	1	0	1	-	-	5	0	5	3	0	3	-	-	9	0	9	0	0	0	0	0	2名:帰国準備のため CV/B
	移動支援班	7	-	-	-	-	-	-	7	2	5	-	-	7	2	5	0	0	0	0	0	0	0	2名:お済みで移動中
	H	16	1	0	1	-	-	5	0	5	10	2	8	-	-	16	0	16	0	0	0	0	0	
合計	569	5	0	5	2	0	2	92	10	82	164	2	173	1	1	0	254	2	262	305	0	305		

装備の現況 (車両等)

16.2.24

		車両												計	
		小型	中型	軽装甲	高機動	WAPC	施設器材	水タンク	燃料	セシル	大型	浄水セット	修理車		
イラク	サマフ			12	5	2	8		2	3	2			1	35
	シャイバ														
	バスラ														
	バクダット														
	計			12	5	2	8	0	2	3	2			1	35
クウェート	キャンプVA	1	3	10	8	1		1			2	2		28	
	CFLCC														
	計	1	3	10	8	1		1			2	2		28	
総計		1	3	22	13	3	8	1	2	3	4	2		63	

装備の現況 (武器)

		武器						
		拳銃	89小銃	54小銃	MINIMI	12.7mm重機関銃	B4RR	信号拳銃
イラク	サマーワ							
	シャイバ							
	バスラ							
	バウダット							
	計							
クウェート	キャンプVA							
	CFLCC							
	計							
総計								

現地の治安状況等



報告項目	報告内容
派遣先国・派遣先地域の状況	<p>○ サマーワ 22日、サマーワ市内の学校において、手榴弾2発が爆発(1つは校庭、1つはホールにおいて爆発したが、死傷者等なし。)現在イラク警察が調査中</p>
	<p>○ ルメイサ 共同ニュース(火薬隠し持った2人組拘束)関連情報 ← 誤報 23日、ルメイサ検問所において、白色の日産ピックアップトラックを点検したところ、車内に白色の不審物が積載されていた。イラク現地警察が細部を調べたところ、それはただの固形燃料であることが判明(状況が報道内容と類似していることから、本事案が上記の記事に関連している可能性が高い。)</p>
	<p>○ キッダ 特異動向なし。</p>
	<p>○ ムサンナ県全般の評価(N/C) ・ 日本人を動揺させるために日本のメディアに対する小規模な攻撃を行う可能性は否定できない。 ・ 現地住民は蘭軍の部隊交代を知っているため、この間においては特に警戒を厳にする必要がある。</p>

現地の気象情報

報告内容

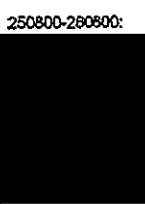

日の出 : 0559
 日の入り: 1810
 天 候 : 晴れ
 気 温 : 最高16°C 最低4°C

宿营地引取

25(水)の活動予定

ミーティング			
隊長(J1)	宿营地工事組(J2)	人道復興支援調査(J3)	要請用道路機設運組(J4)
朝礼0800			
0930:宿营地発 1000:陸自宿营地着 1130:スミッティ着 1200-1500:要人対応 1700:隣国外務大臣、陸自宿营地訪問 2000:隣国国防大臣等へのブリーフィング(スミッティ)	0930:宿营地発、CPA経由 陸自宿营地着 1600:じ後CPA 作業終了 じ後個人物品掌握、 宿営準備	0830:宿营地発 CPA経由 1000:保健所 1500:宿营地 じ後個人の物品 掌握、宿営準備	0930:個人の荷物積載後出発 1000:陸自宿营地着 警備遮断機設置 1600:作業終了 じ後個人の物品掌握、 宿営準備
1900~1930:日々ミーティング・終礼 1930~2000:オランダ軍との調整 2000:外務省との調整			
人員4名 車両2両 HMV×1 LAV×1	人員3名 車両2両 HMV×1 LAV×1	人員5名 車両2両 LAV×2	人員8名 車両2両 WAPC×1 大型×1

25日(水)の活動予定				
サマーワ本隊				
人道復興支援調整(J5)	主要作業(J6)	輸送調整(J7)	輸送誘導(J10)	GRF(J20)
朝礼0800				
0930:宿営地発 1000:教育局 じ後学校の調査 1300:宿営地着	0900:個人の荷物積載後、 宿営地発 0930:陸自宿営地 終日土嚢作成、 じ後天幕展開 1700:作業終了	0830:宿営地発 陸自宿営地経由 1000:タリル空軍基地 1700:陸自宿営地着	0530:キャンプ、 バージニア発 1400:陸自宿営地着 役員	
1900~1930:日々ミーティング・終礼 1930~2000:オランダ軍との調整 2000:外務省との調整				
人員4名 車両2両 LAV×2	人員12名 車両2両 HMV×1 LAV×1	人員5名 車両2両 LAV×2	人員6名 車両2両 LAV×2	

25日(水)の活動予定		
サマーワ本隊		
要人輸送(J8)	主力(J9) 宿営地掃討	要術(J11)
朝礼0800		
0830:宿営地発 0900:CPA着 開軍通訳と調整 土地交渉 0930:宿営地着	0600~0800:個人の物品の掌握・積載 0800~0930:部隊装備品の積載・天幕の清掃 0930:陸自宿営地へ前進 1130:陸自宿営地発 宿営地作業 1200:スミティ舎、じ後昼食 1300:スミティ舎、陸自宿営地 宿営地作業 1500頃:コンテナ6コ到着、天幕展開	250800-260800: 
1900~1930:日々ミーティング・終礼 1930~2000:オランダ軍との調整 2000:外務省との調整		
人員9名 車両2両 HMV×1 LAV×1		

25日(水)の活動予定

クウェート分遣班	バクダッドLO	バスラLO
<ul style="list-style-type: none"> ・本隊1波射撃訓練等への同行 ・米軍からのIEDの教育受け ・英軍からの教育受け 	<ul style="list-style-type: none"> ・[REDACTED]等を通じ情報収集 ・LOミーティング参加 ・防護態勢の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・本隊第一派の移動に関する調整 ・MJLCとの調整 ・定例会議への出席

隊長の行動

○ 本日(24日)

0800~0830:取材対応
 1000~1100: サマーワ市役所
 1300~1400: [REDACTED] (CPA 計画分析部)との懇談
 1400~1600:取材対応
 1730~1830:陸自宿営地指導

○ 明日(25日)

0800~0830:取材対応
 1000~1100:陸自宿営地指導
 1200~1500: [REDACTED] (CJTF-7 部隊防護部長)との懇談
 1700~1745: 蘭国外務大臣対応(陸自宿営地訪問)
 2000~2100: 蘭国防大臣、外務大臣に対する
 プリ-フィンク

群長の行動

- 本日(24日)
 - 群長表敬(英軍: [redacted])
 - 1900~2100:大使主催レセプション(大使公邸)
- 明日(25日)
 - ・ 群長
 - 0830: 群長初弾発射、その後射撃訓練指導
 - 米軍によるIED教育視察
 - PM: 未定
 - ・ 主力1波
 - 終日射撃訓練
 - 0900~1000、1400~1500の間米軍によるIED教育
 - 1800~英軍の教育

日々業務内容(CJTF-7LO)

2月24日

区分	内容
実施した事項	<ul style="list-style-type: none"> ● ナショナルLO <ul style="list-style-type: none"> [redacted]を通じて治安情勢及び作戦状況の情報収集 (送信済み。) [redacted]をC-2 [redacted]が入 手 [redacted]に報告した。 ● 周波数に関する調整 <ul style="list-style-type: none"> 日本隊が使用する衛星電話の周波数についてCJTF-7C-6担当者と調整し、使用申請がCJTF-7として認められ、CPAに上申された。早ければ3日程度で認可される予定 ● 空輸調整に関する調整 <ul style="list-style-type: none"> 統幕から要請のあった空輸調整に関する①地上支援受けの可能性、②JMC経由での申請の2点について調整した。(調整結果は別途統幕に送信する。) ● LOミーティングへの参加(細部2頁参照) ● 防護マスク・戦闘用防護衣の受領 <ul style="list-style-type: none"> クウェート分遣班、CAOC空自空輸計画部の支援を受け、個人化学防護装備がバクダッド国際空港に到着、C-3の車両支援を受け異常なく受領した。 ● スタッフLO <ul style="list-style-type: none"> ・ ナイトシフトとしてC-2勤務 ([redacted]) ・ C-9勤務 ([redacted]): IOブリーフィング担当
問題点	特になし。
明日の予定	<ul style="list-style-type: none"> ● 業務支援隊及び統幕からの情報要求に基づき、[redacted]及びFC3Callion幕僚等を通じ情報収集・調整 <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路状況 ・ 郵便業務
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大使館から上村公使以下3名がCJTF-7(コンテナ)に宿泊 ・ CJTF-7司令官が日本隊の安全について言及(細部3頁参照)